

離島のサツマイモ～生花店主が再興目指す～

石巻市内で生花店を営む高橋^{まさひろ}聖公さんは、牡鹿半島沖にある網地島でサツマイモを栽培している。令和4年に30畝から始めた作付けは、今年で60畝。将来的に1畝まで拡大する計画だ。

網地島では、古くからサツマイモが栽培されており、ミネラルを豊富に含んだ潮風により、甘味が特徴と言われている。

高橋さんは、生花の移動販売で島に約30年間通っていた。島のサツマイモの味に感銘を受けていたが、高齢化により生産量の減少を知り、自ら栽培しようと決心した。茨城県のサツマイモ農家で技術を学んだ後、島の耕作放棄地を整備し、栽培を開始した。

繁忙期は、島に連泊して農作業に従事する高橋さん。「栽培は面白い。頑張って生産量を増やしていきたい」と熱く語る。

サツマイモは10月から収穫され、青果販売のほか、11月中旬から高橋さんの生花店で焼き芋として販売される。

【記事提供】石巻市農業委員会

収穫したサツマイモを持つ高橋さん夫妻



今年のサツマイモ畑

